

令和2年8月

新型コロナウイルス感染症対策としての
音楽科の活動内容制限に関する対応や扱いにつきまして（小学校）

教育出版株式会社 音楽編集部

新型コロナウイルス感染症対策として、自治体や学校のご判断により、音楽の授業が行われる際に、以下の内容を避ける旨の指針が示され、そって指導計画を作成する場合があります。

- ★歌唱や合唱、発声を伴う音楽づくりの活動
- ★鍵盤ハーモニカやリコーダーなどの吹奏楽器の演奏活動

そのため、弊社発行の小学校音楽科教科書「小学音楽 音楽のおくりもの」をご使用いただいている学校におかれましては、音楽の授業時数など各学校の実態に合わせて、平時の年間指導計画例以外の対応も含め、ご検討くださいますようお願いいたします。

また、どのような対応が考えられるかを、9月から12月までの題材・教材を用いて簡単に例示しますのでご活用ください(次ページからの別表)。

<ご指導の際の留意点>

- ・ 弊社の小学校の教科書では、題材やコーナーごとに教材や活動を設定しておりますので、上記の活動以外の学習活動も組み込まれており、題材等の目標にそって扱うことで、年間指導計画を大きく変更することなく対応が可能です。
- ・ 随時教材や毎時教材は、時期を変えて扱うことが可能です。
- ・ 可能な範囲でのマスクの着用や、声の大きさ、児童同士の間隔への配慮、打楽器のばちや鍵盤楽器の鍵盤など共有する用具の衛生管理等に十分にご留意ください。
- ・ 体を動かす活動にあたっては、着席して上半身だけで表現することが考えられます。児童同士の間隔に配慮した位置で着席することや、活動の際大きく息が上がらないようなご配慮をお願いいたします。

なお、学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動の、扱いや時数等については、弊社 HP「学習活動の重点化等に資する年間指導計画参考資料」

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/textbook/shou/ongaku/document/ducu1/plan-r2.html>

をご参照ください。

令和2年度小学校で扱う題材・コーナーにおける
「歌唱教材，鍵盤ハーモニカやリコーダーを扱う教材」に関する対応例（9月～12月）

※グレーのアミ部分は，指導時期を調整する。

学年	題材(コーナー)	教材名	対応例
1年	どれみと なかよし	p.28 ◎どれみのうた	鑑賞CDの音源を聴きながら，どれみ…の部分を中心の中で歌い，教科書の<どれみのたいそう>の図などをもとに，音の高さに合わせて手を動かす。 指導書DVDの映像を活用してもよい。
		p.30 どれみのキャンディー	表現CDの音源を聴きながら，心の中で歌ったり，曲に合わせて上半身を動かしたりする。音階の部分は，教科書p.28の<どれみのたいそう>の図などをもとに，音の高さに合わせて手を動かす。
	(こんにちは けんぱんハーモニカ)	p.32～39	鍵盤ハーモニカは，後の時期に毎時扱いも含め適宜挿入して扱う。 また，導入の学習を学校の授業で行った場合は，そこで学習した既習事項を確認しながら，実際に演奏する活動を学校の授業以外の場で行うことも考えられる。
	もりあがりを かんじて	p.40 ひのまる(共)	表現CDの音源を聴きながら，心の中で歌詞やドレミで歌ったり，音の高さに合わせて手を動かしたりして，一番盛り上がる場所を探す。 共通教材なので，指導時期の変更も考えられる。
いい おと みつけて	いろいろなおとを みつけよう	p.42	楽器ごとに演奏する順番を決め，衛生面に留意しながら，楽器ごとにさまざまな奏法を試したり，友達の演奏の工夫に気付いたりする。 気付きは教科書p.45などに書き留め，交流は声の大きさや，児童同士の間隔に留意して行う。
		p.44	演奏する楽器や順番を決め，衛生面に留意しながら活動する。

		こしょう	気付きの交流は声の大きさや、児童同士の 間隔に留意して行う。
		p.45 ◎こうしん きよく	鑑賞 CD の音源を聴き、「らっぱ」の音に合 わせて吹き真似をしたり、旋律に合わせて 上半身を動かしたりする。
	(おとの スケッチ)	p.46 ねこの なぎ ごえで あそぼう	声による音楽づくりは、指導時期を変更す る。
	p.47 ◎2ひきの ねこの ゆかいな うた	鑑賞 CD の音源を、ねこの声を真似た呼び かけ合いや、多様な表現に注目して聴く。 指導書 DVD の映像を活用してもよい。	
2 年	(めざせ 楽き名人)	p.26 かっこう ドレミの トンネ ル	鍵盤ハーモニカは、後の時期に毎時扱いても 含め適宜挿入して扱う。 <まなびリンク>の映像で運指を確認する など、学習事項をふまえたうえで、実際に 演奏する活動を学校の授業以外の場で行う ことも考えられる。
	きよくに 合った 歌 い方	p.28 ジェットコ ースター	表現 CD の音源を聴きながら、心の中で歌 ったり、リズムによって体を動かしたりす る。「ビューン」のところを身振りですす。
		p.30 虫の こえ (共)	表現 CD の音源を聴きながら、心の中で歌 ったり、虫の声を表している部分で身振り をしたりする。 共通教材なので、指導時期の変更も考えら れる。
		◎ながうた「む しの 声」	鑑賞 CD の音源を、声の表現の特徴や、虫 の声を表している部分に注目して聴く。
	p.32 どんな 音が きこえるかな	校外や家庭などで音を集め、何のどのよう な音かを教科書 p.33 などに書き留める。 気付きの交流は声の大きさや、児童同士の 間隔に留意して行う。	
いい 音 見つけて	p.34 ◎ゆかいな 時計	鑑賞 CD の音源を聴きながら、ウッドプロ ックやトライアングルの音に合わせて上半 身を動かす。 気付きの交流は声の大きさや、児童同士の 間隔に留意して行う。	
	p.36 森の たん	表現 CD の音源を聴きながら、心の中で歌	

		けんたい	ったり, 3・4 段目のリズムを手拍子や楽器で打ったりする。 楽器は演奏する順番や担当を決め, 衛生面に留意しながら, 試したり聴き合ったりする。
	(にっぽんのうた みんなのうた)	p.38 夕やけ 小やけ (共)	表現 CD の音源を聴きながら, 心の中で歌い, 歌詞の表す様子や, どんな声で歌いたいかについて意見を交流する。 共通教材なので, 指導時期の変更も考えられる。
	(めざせ 楽き名人)	p.40 きよくのかんじを生かしてえんそうしよう	鍵盤ハーモニカは, 後の時期に毎時扱いも含め適宜挿入して扱う。 運指など学習事項を確認したうえで, 実際に演奏する活動を学校の授業以外の場で行うことも考えられる。
	おまつりの音楽	p.42 村まつり	表現 CD の音源を聴きながら, 心の中で歌ったり, リズムにのって体を動かしたりする。3 段目の歌詞が笛や太鼓を表す部分は身振りをする。
		p.44 ◎日本のたいこ	鑑賞 CD の各音源を, 楽器の音や特徴的なリズム, 音の重なりに気を付けて聴く。 住んでいる地域などに太鼓が使われている音楽があれば, その音楽について知っていることを交流する。
	(音のスケッチ)	p.45 おまつりの音楽をつくろう	教科書 p.45 に示された太鼓のリズムや, 自分でつくった太鼓のリズムを心の中で唱えながら, 手拍子や楽器を打ち, 友達とつながって楽しむ。
3 年	(にっぽんのうた みんなのうた)	p.28 うさぎ (共)	表現 CD の音源を聴き, 合わせて心の中で歌って, 感じたことや想像した様子をワークシートなどに書き留める。また, お月見や十五夜について知っていることを交流する。 共通教材なので, 指導時期の変更も考えられる。

(めざせ 楽き名人)	p.30 かえり道 レッツゴー ソー レー	リコーダーは、後の時期に毎時扱いも含め 適宜挿入して扱う。 運指など学習事項を確認したうえで、実際 に演奏する活動を学校の授業以外の場で行 うことも考えられる。
せんりつのながれと へん化	p.32 ユモレスク	鑑賞 CD の音源を、旋律の流れや変化、バ イオリンの音色などに注目して聴いたり、 <まなびリンク>の資料映像を見たりす る。 着席したまま、旋律の流れに合わせて上半 身を動かしながら聴き、気付いたことを書 き留める。 教科書 p.75 や、<まなびリンク>の資料 (p.75 対応)を活用して、バイオリンにつ いて理解を深める。
	p.34 白鳥	鑑賞 CD の音源を、旋律の流れやピアノの 動き、チェロの音色などに注目して聴く。 また、旋律の流れに合わせて上半身を動か しながら聴き、気付いたことを書き留める。 <まなびリンク>の「バイオリンとチェロ」 の資料 (p.75 対応)を活用して、バイオリ ンと比較しながら、チェロについて理解を 深める。
遊び歌めぐり	p.36 ◎日本や世 界の友だちの歌 十五夜さんのもち つき	鑑賞 CD の各音源を、旋律やリズムなどの 特徴に留意して聴き、気付いたことを交流 する。 楽譜を見ながら表現 CD の音源を聴き、合 わせて心の中で歌ったり、エア手合わせを したりする。
	p.38 陽気なかじ や	表現 CD の音源を聴き、合わせて心の中で 歌ったり、エア手合わせをしたりする。 リコーダーのパートは、指導時期を変更し たり、個人で演奏する活動を学校の授業以 外の場で行ったりすることが考えられる。
(にっぽんのうた みんなの うた)	p.40～43 ふじ山 (共)	表現 CD の音源を聴き、合わせて心の中で 歌う。また、旋律のリズムを手で打ったり、

			音源を聴きながら楽譜の音符を指でなぞって動きを確認したりして、一番強く歌いたい段について考える。 共通教材なので、指導時期の変更も考えられる。
	曲に合った歌い方	p.44 森の子もり歌	表現 CD の音源を聴き、合わせて心の中で歌って、言葉とフレーズの結びつきを感じ取る。また、旋律の動きや変化に気付く。 リコーダーのパートは、指導時期を変更したり、個人で演奏する活動を学校の授業以外の場で行ったりすることが考えられる。
		p.46 雪のおどり	表現 CD の音源を聴き、合わせて心の中で歌って、言葉とフレーズの結びつきや、音型の反復の面白さを感じ取る。 輪唱教材としては、指導時期を変更する。
	(音のスケッチ)	p.48 チャチャチャのリズムで遊ぼう まほうのチャチャチャ ◎まほうのチャチャチャ	表現 CD の範唱音源を聴き、合わせて心の中で歌ったり、鑑賞 CD の音源を聴き、ラテン音楽の楽しさを感じ取ったりする。 教科書 p.49 の各リズムを確認し、リズムを選んで打ち、つなげたり重ねたりする。 打楽器を用いる場合は、衛生面に留意する。
	p.60 「物語の音楽を楽しもう」などの鑑賞教材を、先行して扱うことも考えられる。		
4 年	(めざせ 楽器名人)	p.26 ハロー サミング 「もののけ姫」から	リコーダーは、後の時期に毎時扱いも含め適宜挿入して扱う。 <まなびリンク>の映像で運指を確認するなど、学習事項をふまえたうえで、実際に演奏する活動を学校の授業以外の場で行うことも考えられる。
	曲に合った歌い方	p.28 ゆかいに歩けば	表現 CD の音源を聴きながら、心の中で歌詞やドレミで歌う。旋律の感じが変わるところを探したり、それぞれの旋律の特徴について気付いたことを交流する。
		p.30 とんび(共)	表現 CD の音源を聴きながら、心の中で歌う。また、楽譜の音符を指でなぞり、旋律

			<p>の流れを確認したり、歌詞の表す様子について意見を交流したりして、どのように歌ったらよいかを考える。</p> <p>共通教材なので、指導時期の変更も考えられる。</p>
かけ合いと重なり	p.32 アラ ホーンパイプ		<p>鑑賞 CD の音源を、楽器による呼びかけ合いや、旋律の反復・変化に注目して聴く。〈まなびリンク〉の資料映像を活用してもよい。</p> <p>聞こえてくる楽器や旋律の流れに合わせて楽器奏者の身振りをしたり、旋律に合わせて上半身を動かしたりしながら聴き、気付いたことを書き留める。</p> <p>教科書 p.75 や、〈まなびリンク〉の資料 (p.75 対応) を活用して、金管楽器について理解を深める。</p>
(にっぽんのうた みんなのうた)	p.34～37 もみじ(共)		<p>表現 CD の音源を聴き、合わせて心の中で歌う。また、音源を聴きながら楽譜の音符を指でなぞり、パートごとに旋律の動きや役割を確認する。</p> <p>歌詞の表す様子について意見を交流する。</p> <p>共通教材なので、指導時期の変更も考えられる。</p>
音楽今昔	p.38 ソーラン節 ◎ソーラン節		<p>表現 CD の音源を聴きながら、心の中で歌う。手拍子も入れてみる。</p> <p>どのようなときに歌われた曲かを知ったり、音頭一同形式の面白さや旋律の特徴を感じ取ったりして、民謡を歌うときの声の特徴について考える。参考に鑑賞 CD の音源を聴く。</p>
			<p>リコーダーの部分は、指導時期を変更したり、個人で旋律を演奏する活動を学校の授業以外の場で行ったりすることが考えられる。</p>

		p.40 日本のお祭りをたずねて	紙面を見て、各地にいろいろなお祭りがあり、人々の生活の中から生まれたものであることを知る。 楽器や声、旋律など特徴を感じ取りながらいくつかお祭りの音源を聴く。住んでいる地域のお祭りに、どのような音楽が使われているか、思い出したり調べてみたりする。
		p.42 ◎秩父屋台ばやし おはやしづくりにチャレンジ ◎葛西ばやし	鑑賞 CD の各音源を、太鼓の音色やリズムの反復、楽器の音の重なりとその効果などに気付いて聴く。 楽器を扱う音楽づくりは、順番や担当など衛生面に配慮して行う。
		p.44 ◎サムルノリ ◎サンバの音楽 朝の歌	鑑賞 CD の各音源を、楽器の音色やリズムの反復、楽器の音の重なりとその効果など、それぞれの音楽の特徴に気付いて聴く。 表現 CD の音源を聴きながら、心の中で歌い、曲の特徴を感じ取る。手拍子や楽器でリズム伴奏も打ってみる。
		p.46 おどれサンバ	表現 CD の音源を聴きながら、心の中で歌い、サンバの楽しさを感じ取る。手拍子や楽器で、リズム伴奏を打ってみる。
	(音のスケッチ)	p.48 音階をもとにして音楽をつくらう	各音階や、既習曲等の音源を聴いて、音階ごとに特徴を感じ取る。 音楽づくりでは、吹奏しない鍵盤楽器や鍵盤打楽器を用い、順番や担当、児童間の距離など衛生面に配慮して行う。
		p.58 「いろいろな歌声を楽しもう」などの鑑賞教材を、先行して扱うことも考えられる。	
5年	オーケストラのみりよく	p.28～31 ◎組曲「カレリア」	鑑賞 CD の音源を聴き、オーケストラ全体の響きや、各楽器群の響きを感じ取る。

	から「行進曲風に」	教科書 p.30 や<まなびリンク>の映像を参考に、旋律の進み方と、ア、イゴとの楽器の響きについて、気付いたことを書き留める。 教科書 p.28 や p.30 の写真、シート、<まなびリンク>の資料などを活用し、オーケストラで使われる楽器や編成などについて知る。
(にっぽんのうた みんなのうた)	p.32 赤とんぼ	表現 CD の音源を聴き、合わせて心の中で歌い、曲想を感じ取る。また、感じたことや想像した様子、旋律と言葉の結びつきについて考えたことを書き留める。
音楽の旅	p.34 子もり歌 (共) ◎会津磐梯山 ◎音戸の舟歌	表現 CD の音源を聴き、合わせて心の中で歌い、2種類の旋律を比べる。 共通教材なので、指導時期の変更も考えられる。 鑑賞 CD の各音源を、声の出し方や節まわし、拍の有無に注目して聴く。 教科書 p.35 を参考に、身の回りのいろいろな声の表現について、知っていることや気付いたことを交流する。
	p.36 日本の民謡をたずねて	紙面を見て、各地にいろいろな民謡が伝えられていることを知る。 声、旋律、合わせて演奏する楽器などの特徴を感じ取りながらいくつか音源を聴く。 住んでいる地域に伝えられている民謡があれば、思い出したり調べてみたりする。
	p.38 こきりこ節 (谷茶前)	表現 CD の音源を聴き、合わせて心の中で歌って、旋律の特徴を感じ取る。手拍子も合わせて打ってみる。 音頭一同形式の面白さや、民謡を歌うときの声の特徴について考える。参考として鑑賞 CD の音源も聴いてもよい。 沖縄音階の響きの特徴やリズムを感じ取りながら、心の中で歌ったり旋律をつくったりする。

		p.40 ◎世界の声の音楽 ◎世界の楽器のひびき	鑑賞 CD の各音源を、声の出し方や楽器の音色、音の重なりなど特徴に注目して聴く。気付いたことや面白いと思ったことをワークシートなどに書き留め、交流する。
	豊かな表現を求めて	p.42 風とケーナのロマンス	表現 CD の音源を聴き、心の中で歌って曲想や8分の6拍子の流れを感じ取る。 パートの役割や、パート同士の関わり方について考える。 リコーダーを用いる合奏は、指導時期を変更したり、個人で旋律を演奏する活動を学校の授業以外の場で行ったりすることが考えられる。
		p.44 冬げしき(共)	表現 CD の音源を聴き、心の中で歌って曲想や3拍子の流れを感じ取る。また、旋律のリズムを手で打ち、段ごとにリズムを比較する。 歌詞の表す様子について意見を交流する。共通教材なので、指導時期の変更も考えられる。
	(音のスケッチ)	p.46 いろいろな声で音楽をつくらう	声による音楽づくりは、指導時期を変更する。
	p.58「変そう曲を楽しもう」などの鑑賞教材を、先行して扱うことも考えられる。		
6年	ひびき合いを生かして	p.24 ロックマイソウル	表現 CD の音源を聴き、心の中で歌って曲想や旋律の重なりのおもしろさを感じ取る。また、旋律のリズムを手で打って、段ごとにリズムを比較する。 合唱教材としては、指導時期を変更する。
		p.26 カノン	リコーダーを用いる合奏は、指導時期を変更したり、個人で旋律を演奏する活動を学校の授業以外の場で行ったりすることが考えられる。

ききどころを見つけ て	p.28 バイオリン とピアノのため のソナタ 第4 楽章	鑑賞 CD の音源を聴き、合わせてそれぞれの楽器の弾き真似などをしながら、教科書をもとに、二つの楽器の関わり方や響き合いを味わう。 気付いたことや感じ取ったこと、曲の魅力やその理由をワークシートなどに書き留め、交流する。
豊かな表現を求めて	p.30 明日を信じて	表現 CD の音源を聴き、合わせて心の中で歌う。また、音源を聴きながら楽譜の音符を指でなぞり、パートごとに旋律の動きや役割を確認したり、アイウごとに曲想やその変化を感じ取ったりする。 歌詞の表す気持ちについて意見を交流する。
	p.32 L-O-V-E	合唱の活動は、指導時期を変更する。 リコーダーや鍵盤ハーモニカを用いる合奏は、指導時期を変更したり、個人で旋律を演奏する活動を学校の授業以外の場で行ったりすることが考えられる。
(音のスケッチ)	p.34 じゅんかん コードをもとに音 楽をつくろう	鍵盤打楽器や吹奏しない鍵盤楽器を使用し て扱うことが考えられる。 楽器を複数名で演奏する際は、衛生管理に 留意する。
p.48 「ジャズとクラシック音楽の出会い」などの鑑賞教材を、先行して扱うことも考えられる。		